

令和6年度 長野県伝統的工芸品産業振興施策の実施状況



令和7年6月
長野県

目 次

1	長野県知事指定伝統的工芸品の新規指定状況	1 ページ
2	長野県伝統的工芸品産業振興施策の実施状況	4 ページ
	趣旨	5 ページ
	施策の柱1に基づく取組 ～ファンの拡大 [ひろげる取組]～	6 ページ
	施策の柱2に基づく取組 ～後継者の確保・育成 [つなぐ取組]～	8 ページ
	施策の柱3に基づく取組 ～売上の拡大 [のばす取組]～	10 ページ
3	県機関における伝統的工芸品の活用・取組事例	13 ページ
	本庁における主な活用事例	14 ページ
	地域振興局における主な取組事例	17 ページ
4	市町村・地域における主な取組事例	18 ページ
	[資料1] 地域振興局における主な取組事例	21 ページ
	[資料2] 市町村・地域における主な取組事例	27 ページ

1 長野県知事指定伝統的工芸品の新規指定状況

◇長野県の美しい伝統的工芸品を未来につなぐ条例に基づく新規指定

(条例第8条関係)

令和6年9月20日指定

〔指定品目〕

名称	生産者	製造地域
阿島傘（あじまがさ）	阿島傘振興会	喬木村
松本本藍型染（まつもとほんあいかたぞめ）	藍染 浜染工房	松本市

〔阿島傘の概要〕



起源は江戸時代中期に京都の傘職人から伝承されたという説と関所の役人が岐阜の傘ろくろ師から傘づくりの下請け仕事をもらい内職として始めた説があります。

骨になる竹と雨よけの和紙、骨をつなぐ「ろくろ（エゴノキ等）」、耐久性を向上させるための「ベンガラ」等、地域内で採取できる様々な材料により製造されてきました。傘の絵柄は作り手によって多様で美しく、日用品としての用途だけでなく観光やイベント等でも活用されています。

〔松本本藍型染の概要〕



松本の藍染めは江戸時代から広く行われるようになり、藍の殺菌力や防虫効果等を理由に庶民の生活着として親しまれました。

明治44年に浜染工房が創業され、「藍の型染め」（生地型紙を置いて糊付けし藍を染める方法）の技術を県内で唯一受け継いでいます。防染糊はもち米から作り、藍を発酵させた「すくも」に灰汁などを加えた染液により製造されてきました。着物だけでなく、バッグやストール等様々な製品が作られています。

今回の指定により、長野県知事指定伝統的工芸品は 23 品目となりました。経済産業大臣指定 7 品目と合わせると、県内の伝統的工芸品は 30 品目となります。

【県内の伝統的工芸品（既指定）の一覧】

経済産業大臣指定7品目				
	木曾漆器	信州紬	飯山仏壇	松本家具
				
	内山紙	南木曾ろくろ細工	信州打刃物	
				
	曲物	蘭絵笠	お六櫛	木曾材木工芸品
				
長野県知事指定21品目	長野県農民美術	白樺工芸品	軽井沢彫	秋山木鉢
				
	桐下駄	信州竹細工	信州鋸	あけび蔓細工
				
	信州手描友禅	龍溪硯	飯田水引	松代焼
				
	栄村つぐら	信州からまつ家具	小沼箒	長野県手作り打上花火
				
	信州組子細工			

2 長野県伝統的工芸品産業振興施策の実施状況

【趣旨】

県では、長野県の美しい伝統的工芸品を未来につなぐ条例（以下「条例」という。）施行以降、第1回長野県伝統的工芸品産業振興審議会を令和5年11月に開催し、伝統的工芸品産業の振興を推進するための指針となる「長野県伝統的工芸品産業振興方針」について審議いただき、令和6年3月に策定したところです。

この方針に基づき、3本の柱を施策の基本として、それぞれの柱に紐づく施策の方向性に従って伝統的工芸品産業の振興に取り組んでまいります。また、施策の方向性や具体的な施策等は、今後、状況の変化に鑑み、柔軟に修正してまいります。

なお、本報告は、条例第15条に基づき、県が講じた伝統的工芸品産業の振興に関する施策の実施状況について、振興方針に基づく3本の柱ごとに取りまとめました。

施策の柱		施策の方向性		
柱1	ファンの拡大 (ひろげる)	認知度を上げる	友達の輪・ 知り合いづくり	柱の横串を 刺す施策 (教育関係等)
柱2	後継者の 確保・育成 (つなぐ)	後継者を確保する	後継者を育成する	
柱3	売上の拡大 (のばす)	魅力を伝え消費 行動を促す	消費者の感性に 届く新たな商品をつくる	

◇施策の柱 1 に基づく取組 ～ファンの拡大 [ひろげる取組]～

(条例第 9 条関係)

(1) 長野県伝統的工芸品リブランディング事業 [継続事業]

事業内容

[魅力発信事業]

R 5 年度に実施した事業（テレビ信州ゆうがた G e t ! での番組企画）の基本フレームを継続し、新入生が加わった 10 人の高校生アイドルグループ「ナナフル」(※) が『伝統工芸部』を結成。4 組にわかれ 4 産地の職人とチームを結成し、産地での体験に加え、職人と伝統的工芸品の新たなコラボグッズを開発し、その過程をゆうがた G e t ! 番組内で放送しました。また、ナナフルのライブ会場では個数限定で販売しました。

※佐久長聖高校が新設したパフォーミングアーツコースに入学し結成した県内初の高校生アイドルグループ[7 限目のフルール]（通称ナナフル）



飯田水引チーム
水引の香り付きストラップ



信州紬チーム
信州紬の花織シュシュ

信州からまつ家具チーム
推しアピ扇子

信州組子細工チーム
光らせて！組子ちゃん！

テレビ信州「ゆうがた G e t !」放映実績

	放送日	放送内容
1 回目	8 月 21 日	企画のキックオフ（グループ分け）
2 回目	9 月 18 日	各チームのコラボグッズのアイデアを発表
3 回目	10 月 16 日	信州紬チームが小岩井紬工房を訪問
4 回目	11 月 20 日	信州からまつ家具チームが柳沢木工所を訪問
5 回目	12 月 18 日	信州組子細工チームが宮田村の梅が里ギャラリー手づくり屋を訪問
6 回目	1 月 15 日	飯田水引チームが飯田市立上山区民センターを訪問
7 回目	2 月 19 日	コラボグッズの完成・販売と、ファンがライブで手に入れたグッズを身に着けてナナフルを応援する様子を伝える、企画集大成となる最終回

(2) 信州ハンドクラフトフェスタ出展支援[継続事業]

事業内容			
[信州ハンドクラフトフェスタ 2024 へ出展]			
「長野県伝統的工芸品特別展」を開催 手作りの日用品としての親和性があり、高い集客力を持つクラフト産業との連携を図ることで、伝統的工芸品の認知度を高め、ファンを拡大し、販路拡大にもつながりました。			
開催日	令和6年7月6日、7日		
場所	エムウェーブ（長野市）		
入場者数	約 15,000 人 (主催者発表)	出展小間数	約 500 小間
販売、実演体験：9 産地 [木曾漆器、信州紬、飯山仏壇、飯田水引 等] 展示：11 産地 [松本家具、内山紙、南木曽ろくろ細工、お六櫛 等]			

(3) 民間事業者等と連携した取組

事業内容
テレビ番組ゆうがたGet！（テレビ信州）のコーナーにおいて、木曾くらしの工芸館の「常設展示場」が紹介されました。 ・上記の他、ニュースなどでも職人の取組など随時紹介されました。

(4) 伝統的工芸品・クラフト連携促進事業[県民参加型予算・R6新規事業]

事業内容	
伝統的工芸品産業とクラフト産業の連携・融合を促進することにより、新たなファン・消費者の拡大など伝統的工芸品産業の課題解決を図りました。	
(1)：木曾くらしの工芸館 [道の駅木曾ならかわ] 【事業内容】 ① 伝統的工芸品（県内全産地）・クラフト作品の常設展示場設置 ② 伝統的工芸品職人・クラフトパーソンの交流スペース設置 	(2)：塩尻市木曾平沢地区 [漆工の街・重要伝統的建造物群保存地区] 【事業内容】 ① 伝統的工芸品×クラフトのワークショップ開催 ② ポップアップストア等のイベント開催 ③ クラフトパーソン向けの漆工教室開催 

◇施策の柱2に基づく取組

～後継者の確保・育成 [つなぐ取組]～

(条例第10条関係)

(1) 技術伝承講習会〔継続事業〕

産地において、伝統工芸士、卓越技能者などの熟練技術者等を講師として、技術伝承講習会を実施しました。

事業内容	
○参加者数	300人（延べ人数）
○開催産地	木曽漆器、内山紙、長野県農民美術、信州からまつ家具、小沼箒、信州竹細工（戸隠竹細工、須賀川竹細工）

(2) 卓越技能者知事表彰（信州の名工）（産業人材育成課）

伝統工芸士など卓越した技能を持ち、各分野で県下第一人者と目される方を「信州の名工」として表彰しました。

表彰者数	伝統的工芸品名
12名（1名）	木曽漆器

※表彰者数欄の（ ）書きは、伝統的工芸品関係の内数

(3) 地域と未来をつなぐゼミ事業（産業人材育成課）

子どもたちに地域企業や産業の魅力を伝え、地域産業での就労を意識づけるため、県内の中学校等に企業経営者や信州ものづくりマイスター、伝統工芸士等を派遣し、ものづくり体験講座等を実施しました。

実施校数	実施市町村名	伝統的工芸品名
21校 （7校）	長野市、松本市、岡谷市、須坂市、下諏訪町	木曽漆器、信州手描友禅、信州からまつ家具

※実施校数の（ ）書きは、伝統的工芸品関係の講座実施校の内数

※実施市町村名は伝統的工芸品関係の講座を実施した学校の所在市町村

(4) 認定職業訓練助成事業（産業人材育成課）

民間における職業訓練の取組を促進し、職業能力の開発や資質の向上を図るため、法令で定める基準に適合する職業訓練を県が認定するとともに、そのうち中小企業等が実施する一部の職業訓練に対して運営費等の助成を行いました。

認定校数	認定校名
43校（1校）	塩尻市木曽高等漆芸学院

※認定校数欄の（ ）書きは、伝統的工芸品関係の認定校の内数

(5) 新規就業者定着促進助成金〔継続事業〕

技術の伝承と後継者の育成を図るために、その製造に携わる新規就業者を伝統的工芸品産業の後継者として育成する費用を助成しました。

- ・助成金額：新規就業者 4 万円/月 事業者 4 万円/月
- ・助成期間：6 か月

助成件数	助成対象
4 者	就業から 5 年以内であり、かつ受入れ事業者の代表者の 3 親等以上の者※ ※ 3 親等以内の者でも就業から 1 年以内の者は対象とするよう要件を緩和

(6) 後継者産地インターンシップ事業〔継続事業〕

伝統的工芸品産地での就業体験や地域での暮らしを通して、産地事業者との出会いを創出する場を提供しました。

事業内容			
1 泊 2 日及びオンラインでの産地インターンシップを開催しました。			
・ 1 回目／就業体験で産地と工房を知る ・ 2 回目／オンラインでの工房見学会			
就業体験	11 月 11 日、12 日 信州手作り打上花火	参加者数	5 人
オンライン	3 月 5 日 木曽漆器	参加者数	約 90 人




◆施策の柱3に基づく取組

～売上の拡大 [のばす取組]～

(条例第9条、第11条関係)

(1) 伝統的工芸品月間国民会議全国大会[継続事業]

主催：(一財) 伝統的工芸品産業振興協会 ほか

場 所	金沢 21 世紀美術館ほか (石川県)
期 間	令和 6 年 11 月 8 日～10 日 [3 日間]
出展産地	(県内産地からの出展なし)
来場者数	約 105,000 人

(2) 関東ブロック伝統的工芸品展[継続事業]

主催：(一社) 関東ブロック伝産・文化協議会

場 所	浅草寺 (東京都)
開 催 日	令和 6 年 12 月 17 日～19 日 [3 日間]
出展産地	(県内産地からの出展なし)
来場者数	約 300,000 人

(3) 長野県伝統的工芸品展 (新作展 同時開催) [継続事業]

主催：長野県、長野県伝統工芸品産業振興協議会、長野県中小企業団体中央会

場 所	井上百貨店 (松本市)
開 催 日	令和 7 年 1 月 29 日～2 月 3 日 [7 日間]
出展産地	23 産地
来場者数	約 3,240 人

(4) デザサボながのによるPR支援[継続事業]

地域資源製品開発支援センター (デザサボながの) (県工業技術総合センター環境・情報技術部門内[松本市]) において、伝統的工芸品産業地域内循環支援事業補助金を活用した事業について、補助対象事業者に事業内容や取組成果を取材し、事例集を作成しました。



(伝統的工芸品補助金
活用事例集作成)

(5) 長野県中小企業団体中央会に支援員を配置し産地の伴走支援[継続事業]

産地の課題・ニーズに応じたきめ細かい相談・助言や取組を支援しました。

○支援員 4名体制

(6) 商談会等による販路開拓・販売促進(営業局)

商談会の開催や伝統的工芸品へのニーズを有するバイヤーとのマッチング支援により、新たな受注に結び付くよう支援しました。

事業内容

① 伝統的工芸品へのニーズを有するバイヤーとのWEB商談会の開催

バイヤー	実施時期	参加事業者数
株式会社AKOMEYA TOKYO	令和7年1月30日	1者 (南木曽ろくろ細工)

② ホテルで開催された長野県フェアにあわせた伝統的工芸品の展示

ホテル	実施時期	参加事業者数
ザ・キャピトルホテル東急	令和6年7月1日～9月27日	6者 (信州紬、長野県農民美術、軽井沢彫、飯田水引、松代焼、信州組子細工)
コートヤード・バイ・マリオット 新大阪ステーション	令和7年3月1日～5月31日	1者 (飯田水引)

③ 大手セレクトショップ「ビームスジャパン」バイヤーによる産地訪問の実施

実施時期	令和6年4月16日～17日
訪問事業者数	2者（飯田水引、木曽漆器） ※産地訪問を経て採用された商品は「ビームスジャパン 善光寺店」においてストア限定アイテムとして販売

④ フランス・パリ「『伝統と先端と』～日本の地方の底力～」への出展支援

主催：（一財）自治体国際化協会 パリ事務所

実施時期等	令和6年10月31日～11月3日（会場：ディジョン展示コンベンションセンター） 令和6年11月5日～23日（会場：パリ日本文化会館）
参加事業者数	3者（飯山仏壇、軽井沢彫、信州組子細工）

(7) 地域内循環支援事業（伝統的工芸品活用事業、新商品開発・新ビジネス創出事業）**〔継続事業〕**

伝統的工芸品産業以外の企業（観光業、製造業、建設業等の事業者）がイメージアップ戦略、インバウンド戦略等に伝統的工芸品を活用し、その魅力発信に対する取組を支援しました。

	I 型 伝統的工芸品活用事業	II 型 新商品開発・新ビジネス創出支援事業
対象事業	伝統的工芸品を購入し、その <u>魅力の発信や認知度向上につなげる取組</u>	伝統的工芸品事業者と異なる業種の企業等が連携して行う新規性・拡張性の高い <u>新商品開発・新ビジネス創出の取組</u>
補助対象者	県内企業等 (宿泊・飲食事業者等)	取組を行うグループ
補助率	2 分の 1 以内（上限 10 万円）	2 分の 1 以内（上限 100 万円）

支援事業内容	
【I 型 伝統的工芸品活用事業】 支援件数 6 件	
事業者名（所在地）	主な取組
鹿教湯温泉旅館 協同組合（上田市）	観光イベントで長野県手作り花火を打上げ
株式会社 奈良井まちやど （塩尻市）	木曽漆器の弁当箱をオプションツアー時に活用
株式会社 花屋ホテル （上田市）	ホテル女性従業員の制服として信州紬（上田紬）を使用
株式会社 ホテル紅や （諏訪市）	木曽漆器のワインクーラーや松代焼の器を使って料理を提供
合資会社 富士之湯 （松本市）	木曽漆器のおひつ、しゃもじ等を使って料理を提供
株式会社 小柳 （松本市）	木曽漆器の鉢、スプーン等を使って料理を提供
【II 型 新商品開発・新ビジネス創出支援事業】 支援件数 2 件	
事業者名（所在地）	主な取組
阿寺ブルー 株式会社 （大桑村）	南木曽ろくろ細工とガラス加工技術を融合させた商品開発 （連携先：南木曽ろくろ細工）
株式会社 奈良井まちやど （塩尻市）	木曽漆器の弁当箱セットを開発 （連携先：木曽漆器）

3 県機関における伝統的工芸品の活用・取組事例

本庁における主な活用事例

【区分】

- ①贈答品として活用している事例
②その他の活用事例

工芸品名	区分	活用	備考
木曽漆器	①	カンボジア大使へ 写真楯を贈呈	企画振興部
	①	中国河北省スキー訪問団ほかへ ゴブレットを贈呈	企画振興部
	①	外務省・長野県共催レセプションの招待者へ お土産として箸セットを贈呈	産業労働部
	①	在リヨン領事事務所長へ 木曽漆器の椀を贈呈	産業労働部
	②	知事表彰等での記念品として フォトスタンドを授与	総務部 環境部
	②	最低賃金ポスターコンテスト受賞者へ 木曽漆器のカップを授与	産業労働部
	②	しあわせバイ信州運動専用ホームページで木曽漆器工 業協同組合の取組を記事として紹介	産業労働部
	②	県組織における木曽漆器の名札の購入・着用を推進	産業労働部
	②	“信州の木”建築賞の表彰において 木曽漆器の木製表彰楯を授与	建設部
信州紬	②	第13回梅棹忠夫・山と探検文学賞の知事特別賞の 記念品として信州紬の手織りストールを授与	県民文化部
	②	ザ・キャピトルホテル東急での長野県フェアにおいて 扇子の展示	産業労働部
松本家具	②	ラッシュチェアを、県立長野図書館の信州・学び創造ラ ボに配置	教育委員会
内山紙	①	しあわせバイ信州運動キックオフイベントの応援団長 就任式において「もう中学生」へ 内山紙の名刺を贈呈	産業労働部
	②	知事表彰の賞状用紙に使用	総務部
	②	ザ・キャピトルホテル東急での長野県フェアにおける メニュー用紙に使用	産業労働部

工芸品名	区分	活用	備考
蘭絵笠	②	県立高校で製作体験を実施	教育委員会
木曽材木工芸品	①	フィンランドからの訪問団へ 木曽ヒノキ製の小判メンパを贈呈	林務部
	②	県立高校の課題研究で欄間の組子について学習	教育委員会
長野県農民芸術	①	韓国江原特別自治道議会へ 「牛にひかれて」を贈呈	企画振興部
	①	在ブラジル長野県人会長へ 木彫り壁掛けを贈呈	企画振興部
	②	外務省・長野県共催レセプションにおいて 長野大学による農民美術の研究を紹介	企画振興部
	②	ザ・キャピトルホテル東急での長野県フェアにおいて オブジェを展示	産業労働部
軽井沢彫	①	ブラジルの第一アリアンサ文化体育協会長へ 花器を贈呈	企画振興部
	②	ザ・キャピトルホテル東急での長野県フェアにおいて お盆を展示	産業労働部
	②	県立高校の工業クラブの活動で、彫刻を組み込んだデザイン の作品を作製	教育委員会
信州竹細工	②	県産品応援団フェアのプレゼントキャンペーンにおいて 信州戸隠竹細工（根曲がり竹コーヒードリッパー）を 賞品として授与	産業労働部
龍溪硯	②	県立高校の書道コースの生徒が龍溪硯を作製	教育委員会
飯田水引	①	ハンガリー大使へ 飯田水引細工を贈呈	企画振興部
	①	議員派遣による海外調査において 記念品として贈呈	議会事務局
	①	下伊那地区芸術鑑賞での演者へ 記念品として飯田水引で作成された額縁入りの宝船を 贈呈	教育委員会
	②	外務省・長野県共催レセプションにおいて 飯田水引の実演及びワークショップを実施	企画振興部

工芸品名	区分	活用	備考
飯田水引	②	ザ・キャピトルホテル東急での長野県フェアにおいてオブジェを展示	産業労働部
	②	コートヤード・バイ・マリオット新大阪での長野県フェアにおいてオブジェを展示	産業労働部
	②	「ビームスジャパン善光寺」出店に際し、キーホルダー等を新たに商品開発し販売	産業労働部
	②	県立高校の一部で、水引のコサージュを卒業式や行事で使用	教育委員会
	②	県立高校で水引を使った梅結びを学習し、マグネットを作成して文化祭で販売	教育委員会
	②	県立高校で阿智村の星空と花桃をイメージしたストラップを作成し文化祭で販売。文化祭当日にはワークショップを行い、来客者と一緒にストラップを作成	教育委員会
松代焼	①	インド大使へ 徳利とお猪口を贈呈	企画振興部
	②	ザ・キャピトルホテル東急での長野県フェアにおいて徳利を展示	産業労働部
信州組子 細工	②	ザ・キャピトルホテル東急での長野県フェアにおいてランプシェードを展示	産業労働部
阿島傘	②	外務省・長野県共催レセプションにおいて阿島傘と県産花を組み合わせた大型展示を実施	企画振興部

地域振興局における主な取組事例

地域 振興局	工芸品名	取組概要	後段 資料 No
佐久	軽井沢彫	・ J R 立川駅（東京都）に特設ブースを設置し P R	①
上田	信州紬	・「鹿教湯温泉 食・浴の秋祭りウィーク」にて P R、ノベルティとして信州紬（上田紬）を使った缶バッジ等を配布 ・住宅展示場のモデルハウスにて P R 及び常設展示 ・タイのインフルエンサー等を招き、信州紬（上田紬）の機織り体験を実施 ・県ブログ、公式 L I N E、公式 X で情報発信	② ③ ④
	長野県農民美術	・「鹿教湯温泉 食・浴の秋祭りウィーク」にて P R ・住宅展示場のモデルハウスにて P R 及び常設展示	② ③
	長野県手作り打上花火	・県ブログ、公式 L I N E、公式 X で情報発信	
南信州	飯田水引	・白馬村のホテルにて外国人観光客向けに P R	⑤
	阿島傘	・飯田合同庁舎内ホールにて P R	⑥
松本	木曾漆器	・ R K B カラフルフェス 2024（福岡県）にてブースを設け P R、ノベルティとして漆塗の箸を配布 ・県ブログで情報発信	⑦ ⑧
	信州紬	・ R K B カラフルフェス 2024（福岡県）にてブースを設け P R	⑦
	曲物		
長野	信州打刃物	・「産業フェア i n 信州 2024」にて P R ・長野合同庁舎内ロビーにて P R	⑨
	信州竹細工		
	信州手描友禅		
	松代焼		

4 市町村・地域における主な取組事例

地域	工芸品名	実施主体	取組概要	後段資料 No
諏訪	信州鋸	茅野市	・信州鋸をHPやY o u T u b eなどでP R	⑩
南信州	飯田水引	飯田市	・車いす水引スポークアクセサリ 「M e ' s (ミーズ)」の普及活動を実施	⑪
	阿島傘	喬木村ほか	・「外務省・長野県共催レセプション」にてP R	⑫
木曽	南木曽ろくろ細工	南木曽ろくろ 工芸協同組合	・お椀を小学校の卒業生へプレゼント ・後継者等に向け技術習得の研修を実施	⑬ ⑭
		蘭桧笠 生産協同組合	・技術保有者を講師に「笠づくり講習会」を実施	⑮
	お六櫛	木祖村お六櫛 組合	・地域の中学校でお六櫛製作を指導 ・空き民家を活用し、観光客に「手挽き お六櫛実演」と「櫛作り体験」を実施	⑯ ⑰
		木祖村	・後継者育成のためミネバリ材を購入し 製材、保管	⑱
松本	木曽漆器	木曽漆器 青年部	・地域の小中学校と連携し、漆器に関する学習や、漆の植樹を実施	⑲
		ヨヨヨイ!!! 実行委員会	・オープンファクトリー等、木曽漆器に触れる多彩なプログラムを実施	⑳
	信州紬	松本ものづくり 伝承塾	・県外の物産展や市内のイベント等で展示販売を実施しP R	㉑
	松本本藍型 染	松本ものづくり 伝承塾	・県外の物産展や市内のイベント等で展示販売を実施しP R	㉑
			・藍染絞り手ぬぐいづくりの体験講座を実施	㉒
北信	飯山仏壇	飯山市	・友好都市や市内のイベントにてP R	㉓
		飯山仏壇事業 協同組合	・イベントにて飯山仏壇の工芸体験を実施	㉔
	内山紙	飯山市	・友好都市や市内のイベントにてP R	㉓
		飯山市ほか	・伝統技術の継承と後継者育成を目的とした「飯山市伝統工芸塾」を開催	㉕

地域	工芸品名	実施主体	取組概要	後段資料 No
北信	内山紙	木島平小学校	・卒業証書に用いる和紙の製作体験を実施	②⑥
	信州竹細工	須賀川竹細工 振興会	・竹細工教室を開催	②⑦
	栄村つぐら	栄村つぐら 振興会ほか	・猫つぐら教室を開催 ・実演会を村役場や公民館で実施	②⑧
	小沼箒	飯山市	・友好都市や市内のイベントにてPR	②⑨
		飯山市立 常盤小学校 ほか	・児童が両国国技館に小沼箒を寄贈 ・児童自ら栽培、収穫したほうき草を使いほうき作りを体験	②⑨

〔資料 1〕
地域振興局における主な取組事例

軽井沢彫

佐久地域
①

■取組内容

J R 東日本長野支社及び八王子支社と協力し、J R 立川駅（東京都）の改札口・商業施設併設通路で行った「夏の信州観光キャンペーン」特設ブースにおいて、軽井沢彫のカタログによる商品PRを実施。

また、信州の伝統的工芸品の総合パンフレットを同封したアームバックを配布。

■実施主体（所属）

佐久地域振興局（商工観光課）

J R 東日本長野支社

J R 東日本八王子支社

■実績・成果等

チラシ配布数 1,000部



【ブース前でアームバック配布の様子】

信州紬/長野県農民美術/ 長野県手作り打上花火

上田地域
②

■取組内容

「鹿教湯温泉 食・浴の秋祭りウィーク」において、上田地域の伝統的工芸品の展示・製作体験を実施。

信州紬（上田紬）を使用した缶バッジやマグネットを作成し、ノベルティとして来場者に配布。

イベント後に、長野県魅力発信ブログ「じょうしょう気流」、長野県公式LINE、長野県公式Xでイベントレポートによる伝統的工芸品の魅力を情報発信。

■実施主体（所属）

上田地域振興局（商工観光課）

■実績・成果等

体験会参加者数 約380人

ブログアクセス数 206件

地元紙に掲載



信州紬/長野県農民美術/ 長野県手作り打上花火

上田地域
③

■取組内容

住宅展示場のモデルハウスにおいて、上田地域の伝統的工芸品に係る展示見学会及びワークショップ（製作体験）イベントを実施。

また、日常の中で使われる伝統的工芸品を見ていただくため、モデルハウスでの常設展示を実施。

イベント後に、長野県魅力発信ブログ「じょうしょう気流」、長野県公式LINE、長野県公式Xでイベントレポートによる伝統的工芸品の魅力を情報発信。

■実施主体（所属）

上田地域振興局（商工観光課）

■実績・成果等

イベント参加者数 約30人
ブログアクセス数 1,105件
信濃毎日新聞に掲載



信州紬

上田地域
④

■取組内容

タイのインフルエンサー、ランドオペレーターを招請し実施した上田地域のファムトリップの中で、信州紬（上田紬）の機織り体験を実施。

■実施主体（所属）

上田地域振興局（商工観光課）

■実績・成果等

信濃毎日新聞等3社に掲載
NHK及び民法テレビ局2社で放送
インフルエンサーによるFacebookへの投稿
ビュー数：3,614件



飯田水引/阿島傘

南信州地域
⑤

■取組内容

南信州地域の伝統的工芸品である飯田水引、阿島傘を白馬に滞在する外国人観光客にPRするため、北アルプス地域振興局と南信州地域振興局が連携し、白馬村のホテルTHE HAPPOにおいて、飯田水引、阿島傘の展示を実施。

■実施主体（所属）

北アルプス地域振興局（商工観光課）

南信州地域振興局（商工観光課）

■実績・成果等

販売数 阿島傘 1 本、阿島傘ランプシェード 4 個



飯田水引/阿島傘

南信州地域
⑥

■取組内容

令和6年9月20日に阿島傘が長野県知事指定伝統的工芸品となり、南信州地域の伝統的工芸品である飯田水引、阿島傘をPRするため、飯田合同庁舎のエレベーターホールにて展示を実施。

■実施主体（所属）

南信州地域振興局（商工観光課）



木曾漆器/曲物/信州紬

松本地域
⑦

■取組内容

信州まつもと空港地元利用促進協議会が参加する「RKBカラフルフェス2024（福岡県）」にブースを設け、木曾漆器をはじめとした伝統的工芸品の展示、販売、パンフレットの配布等により情報発信を実施。

また、長野県の伝統的工芸品等に関するアンケートのノベルティとして、「木曾檜摺漆塗り箸」を配布。

■実施主体（所属）

松本地域振興局（商工観光課）

■実績・成果等

イベント来場者 約5万人

パンフレット 配布数 200部

木曾檜摺漆塗り箸 配布数 200膳



「信州松本の伝統工芸品」紹介パンフレット



実器展示の様子

木曾漆器

松本地域
⑧

■取組内容

長野県魅力発信ブログ「来て！観て！松本『彩』発見」において、木曾漆器（デザイン性の高い漆グラスなど）、木曾漆器祭・奈良井宿場祭、信州の伝統的工芸品常設展示場（木曾くらしの工芸館内）を紹介し、幅広い世代に伝統的工芸品の魅力を発信。

■実施主体（所属）

松本地域振興局（商工観光課）

■実績・成果等

アクセス数 716件(R 6. 7. 1～R 7. 3. 31累計)



信州打刃物/信州竹細工/ 松代焼/信州手描友禅

長野地域
⑨

■取組内容

長野地域の4産地（信州打刃物、信州竹細工、松代焼、信州手描友禅）及び長野県中小企業団体中央会協力のもと、令和6年10月に開催された「産業フェア in 信州2024」に伝統的工芸品を展示。出展ブースでは松代焼の作陶体験も実施。また、同展示物は長野合同庁舎1階県民ロビーでも約半年間にわたって展示。

■実施主体（所属）

長野地域振興局（商工観光課）

■実績・成果等

出展ブース来場者数 約130人

「松代焼」作陶体験参加者数 5組

合同庁舎展示 令和6年9月～令和7年3月



[産業フェア出展ブースの様子]

[資料 2]
市町村・地域における主な取組事例

信州鋸

諏訪地域
⑩

■取組内容

伝統に基づいた手作りの鋸で、品質や耐久性に優れ、切れ味の良さにおいて全国的に知られている信州鋸は現在職人も限られ、希少な逸品となっている。

茅野市では、公式ホームページでの周知、茅野市ビーナネットでのY o u T u b e 配信などを実施している。

■実施主体（所属）

茅野市（商工課）

■実績・成果等

ホームページ閲覧数(R 6) : 2,169回

Y o u T u b e 総再生回数 : 1,507回



飯田水引

南信州地域
⑪

■取組内容

学校法人津田塾大学、J a p a nブランド飯田水引プロジェクト、(有)関島水引店との産学官連携で開発した車いす水引スポークアクセサリー「Me's（ミーズ）」の普及活動を実施。第20回長野車いすマラソンでは入賞者への贈呈品に採用され、津田塾大学飯田ワーキンググループの学生がプレゼンターとして出席した。

また、飯田水引を活用した「帯挿し」（着物の装飾品）を同グループが企画し、同大学の卒業式で販売、着用された。

■実施主体（所属）

飯田市（企画部広報ブランド推進課）

■実績・成果等

出荷数 「Me's」大100ケース、小100ケース

* 出荷数は通算



阿島傘

南信州地域
⑫

■取組内容

令和7年3月18日に外務省飯倉公館（東京都）で開催された「外務省・長野県共催レセプション」にて、会場ロビーホールで阿島傘の展示（傘20本の設置・ライトアップ）を実施。

在日大使をはじめ多くの方々に写真撮影いただき、国内外へ広範囲に発信した。

■実施主体（所属）

阿島傘職人・喬木村（産業振興課・企画財政課）
（イベント主催：外務省・長野県）

■実績・成果等

70か国以上の在日大使等への発信



南木曽ろくろ細工

木曽地域
⑬

■取組内容

南木曽ろくろ細工のお碗を令和6年度末に卒業する小学生へプレゼント（16年前から継続）。

■実施主体（所属）

南木曽ろくろ工芸協同組合

■実績・成果等

3月11日に南木曽小学校の6年生29人に計30個（担任の先生含む）のお碗をプレゼントした。

南木曽ろくろ細工

木曽地域
⑭

■取組内容

後継者・従事者のための技術・技法の習得及び拭漆仕上げの技術習得のための研修を実施。

■実施主体（所属）

南木曽ろくろ工芸協同組合

■実績・成果等

期間：1月9日、16日、23日、30日、
2月6日、13日、20日の（計7日間）
合計35人が参加



蘭桧笠

木曽地域
⑮

■取組内容

6人の技術保有者を講師に「笠づくり講習会」を実施。内容は上級・中級・初級3コースによって上九天・チョンボリ・七寸笠の指導を行うもので、2回に分けて行われた。

■実施主体（所属）

蘭桧笠生産協同組合

■実績・成果等

第1回：12月2日～7日の間に8人
第2回：3月10日～15日の間に9人



お六櫛

木曽地域
⑬

■取組内容

木祖中学校の総合的な学習「おおとりの時間」を用い、生徒9名、先生3名の計12名を対象に「手挽きお六櫛づくり」の指導を実施。生徒は、文化祭で作品発表と実演発表を行った。

■実施主体（所属）

木祖村お六櫛組合

■実績・成果等

参加者：生徒9名、先生3名

指導期間（指導回数）：5月～9月（12回）



お六櫛

木曽地域
⑭

■取組内容

春・秋の行楽シーズンに、薮原宿内の空き民家を活用し、観光客に「手挽きお六櫛実演」と「櫛作り体験」を実施。

■実施主体（所属）

木祖村お六櫛組合

■実績・成果等

櫛作り体験者：9名

実施日数：5月（2日間）、10月～11月（6日間）



お六櫛

木曽地域
⑱

■取組内容

令和6年度ミネバリ（オノオレカンバ）材の取得。後継者育成事業のためにミネバリ（オノオレカンバ）材を購入し製材、保管している。

■実施主体（所属）

木祖村



木曽漆器

松本地域
⑲

■取組内容 「育てる漆器プロジェクト」 （※ 長野県地域発元気づくり支援金を活用）

檜川小中学校と連携し、以下2つの事業を実施。

- ①「漆器を育てる」取組 給食で使うトレーに自分達で漆を塗り、給食で毎日使用する。
 - ②「ウルシを育てる」取組 自分たちが塗る漆を採取するため、学校敷地内に全校児童でウルシの苗木を植樹。
- 木曽漆器と地元小中学校が連携した取組や想いを冊子にまとめて広く周知。

■実施主体（所属）

木曽漆器青年部

■実績・成果等

- ・参加者数 83名 4年生はR7年度の新1年生用トレーに漆塗りを4度実施。3、5～9年生は漆塗りトレーのメンテナンスとして漆の塗り直しを実施。
- ・学校敷地内に立入防止柵を設置し、全校生徒でウルシの苗木2本を植樹。
（3年目で計7本、毎年2本増やしていく）
- ・冊子「山中に学ぶ」を4,000部作成、市内保育園、小中学校及び市関連施設等に配布。



木曽漆器

松本地域
⑳

■取組内容 「木曽オープンファクトリー「ヨヨヨイ!!!」」

(※県民参加型予算を活用)

秋に開催された木曽漆器祭において、より「作り手」と「買い手」の距離を縮めることを目的に「木曽オープンファクトリー「ヨヨヨイ!!!」」を同時開催し、恒例の木曽漆器市をはじめ、ワークショップやオープンファクトリー、漆工町探索ツアーなど、木曽漆器に触れる多彩なプログラムを実施したほか、異業種による出店や、講演会等も実施。

■実施主体（所属）

ヨヨヨイ!!!実行委員会

■実績・成果等

参加企業：38社

来訪者数：約500人



信州紬/松本本藍型染

松本地域
㉑

■取組内容

県外の複数の物産展や市内のイベント等で、信州紬（松本紬）や松本本藍型染をはじめとした伝統工芸品を展示販売。

製造過程の紹介映像やパンフレットなども用いて県内外にPRした。

■実施主体（所属）

松本ものづくり伝承塾（松本市商工課）

■実績・成果等

出展回数 5回（年間）



松本本藍型染

松本地域
(22)

■取組内容

藍染の魅力発信のため、市民の皆様を対象に、藍染絞り手ぬぐいづくりの体験講座を実施。浜染工房の指導の下、幅広い年齢の参加者が様々な柄の手ぬぐいを作成した。

■実施主体（所属）

松本ものづくり伝承塾（松本市商工課）

■実績・成果等

参加者 15名



飯山仏壇/内山紙/小沼箒

北信地域
(23)

■取組内容

飯山市の観光交流都市、友好都市、飯山市内で開催されるイベントに出展し、飯山市のPRを行うと同時に地域の伝統的工芸品のPRを実施。

伝統的工芸品の技術を使った製品の販売、ミニチュアカプセルトイの設置を実施。

■実施主体（所属）

飯山市（商工観光課）

■実績・成果等

販売実績

飯山仏壇：箸、カトラリー、マグカップ 8組

内山紙：名刺入れ 3個

小沼箒：小手箒 1本、座敷箒 1本

カプセルトイ：143個



飯山仏壇

北信地域
②4

■取組内容

イベントにて飯山仏壇の魅力を新規顧客層へPR。

伝統工芸士の指導のもと行った彫金、彫刻、蒔絵、金箔押しの無料体験を通して、飯山仏壇の巧みさ、奥深さ等を幅広い消費者にPR。

■実施主体（所属）

飯山仏壇事業協同組合

■実績・成果等

第4回飯山仏壇体験フェスタでの

伝統工芸無料体験参加者 150名



内山紙

北信地域
②5

■取組内容

内山紙の伝統技術の継承と後継者育成を目的とし、「飯山市伝統工芸塾」を開催。全16回の講習で、受講者は楮の皮はぎ等の原料製造の工程と紙漉きを学ぶ。

■実施主体（所属）

飯山市（商工観光課）

長野県中小企業団体中央会

■実績・成果等

受講生 6名



内山紙

北信地域
(26)

■取組内容

「内山手すき和紙体験の家」上埜氏の協力のもと、木島平小学校6学年の児童が和紙で自分の卒業証書を作成。

木島平村が助成を行い小学校が主体となり、児童らが和紙の原料となる楮の収穫、皮むき等の加工も行い、和紙を制作した。

■実施主体（所属）

木島平小学校

■実績・成果等

令和6年度卒業生 41枚作成



信州竹細工

北信地域
(27)

■取組内容

志賀高原で採れるネマガリダケ（チシマザサ）を原料とした信州竹細工（須賀川竹細工）の技術を後世に残すため、町内で竹細工教室を開催。県内各地の工芸品イベントにも出展し、ネマガリダケの性質を生かした現代のニーズに合った製品を開発。

■実施主体（所属）

須賀川竹細工振興会

■実績・成果等

- ・竹細工教室 年10回開催
- ・小学校竹細工（クラブ活動）年5回開催
- ・足立区環境学習ツアー 竹細工体験受入（参加者43名）
- ・各工芸品展への出展
（北信濃伝統工芸品展、信州クラフトフェア等）



栄村つぐら

北信地域
(28)

■取組内容

1月～3月に猫つぐら教室を計3回開催
また実演会を週3回村役場や公民館で実施。

■実施主体（所属）

栄村つぐら振興会・伝統文化支援員

■実績・成果等

教室参加者 延べ40名



小沼箒

北信地域
(29)

■取組内容

地元小学生が修学旅行で（公財）日本相撲協会を訪ね、両国国技館に小沼箒を寄贈。
また、地元小学生が自分たちで栽培、収穫したほうき草を使い、小沼ほうき振興会
会員の指導のもとほうき作りを体験。

■実施主体（所属）

飯山市立常盤小学校
小沼ほうき振興会

■実績・成果等

両国国技館へのほうき寄贈 6年生
ほうき作り体験 4年生

